

日本 ICID 協会
令和 8 年度 総会議案書

令和 8 年 7 月 3 日（金）

日本 ICID 協会

第 1 号 議 案

令和 7 年度事業報告及び収支決算（案）について

令和 7 年度事業報告

令和 7 年度、日本 ICID 協会は次の事業を実施した。

1. 理事会及び総会

1.1. 理事会及び総会の運営

令和 7 年度日本 ICID 協会理事会及び総会を令和 7 年 7 月 31 日に開催した。

2. 会議参加費助成

参加費の助成は行わなかった。

ただし、令和 7 年 9 月 7 日（日）から 13 日（土）、マレーシア・クアラルンプールにて開催された ICID 第 4 回世界かんがいフォーラム及び第 76 回国際執行理事会において、（一財）日本水土総合研究所が行う公益事業の一環として同会議に参加しプレゼンテーションを行った YPF 会員 2 名について現地サポート等の支援を行った。

3. 技術交流事業

3.1. 講演会

理事会、総会の開催に合わせ、農林水産省農村振興局設計課海外土地改良技術室長の高野伸氏を講師にお招きし、「農村振興局における今後の海外農業農村開発に関する展開方向」と題して講演をいただいた。

3.2. 若手かんがい排水技術者フォーラム作業部会（WG-YPF）

① 第 21 回若手かんがい排水技術者のための勉強会（現地見学会）

令和 7 年 8 月 26 日及び 27 日、千葉県にて、（一財）日本水土総合研究所の公益事業と連携し、農事組合法人「鹿島」、関東農政局、千葉県、印旛沼土地改良区、両総土地改良区、北総東部土地改良区の協力により、新潟大学、筑波大学、岐阜大学、近畿大学、東京大学、東京農工大学から 23 名の参加により開催した。

② WG-YPF 定例会及び第 22 回若手かんがい排水技術者のための勉強会

令和 8 年 3 月 10 日に、都内会議室において、WG-YPF 定例会を開催するとともに、ICID 帰国報告会とあわせて第 22 回若手かんがい排水技術者のための勉強会（YPF 勉強会）としてグループディスカッションを行った。

3.3. 日本 ICID 協会会員の活動支援

令和 8 年 3 月 10 日、ICID 日本国内委員会と日本 ICID 協会の共催により ICID 帰国報告会を開催した。

4. YPF 活動経費支援

ICID 本部において、YPF 活動支援の拠出金の使用がみられなかったため、拠出金は取りやめた。

5. 委託事業

5.1. 日本 ICID 協会の運営

(一財) 日本水土総合研究所に日本 ICID 協会の事務局業務を委託し、上記活動の運営を行った。

5.2. 日本 ICID 協会会報の発行

ICID の諸活動に関する情報を会員に提供するとともに、会員からの情報、意見などを紹介する交流の場として、日本 ICID 協会会報（第 43 号）を作成し、希望する会員に配布した。

記事の内容（第43号）

- (1) 令和 7 年度の活動概要
- (2) 日本ICID協会理事会、総会、講演会
- (3) ICID国際会議の概要
- (4) WG-YPF主催の定例会及び勉強会等の概要
- (5) その他の活動

5.3. ホームページの更新

日本 ICID 協会会報（第 43 号）を日本 ICID 協会のウェブサイトに掲載するとともに、ICID クアラルンプール会合の概要、理事会・総会、YPF 活動、帰国報告会の結果等について、順次アップロードを行った。

5.4. メールマガジンの配信

日本 ICID 協会の行事予定、事務連絡等を掲載した日本 ICID 協会メールマガジンを計 5 回配信した。

6. 予備費（来日した ICID 関係者との技術交流及び情報交換への支援）

令和 7 年 11 月 9 日～15 日にかけて、マルコ ICID 会長が来日し、ICID 日本国内委員会の対応のもと、宮城県大崎市の世界かんがい施設遺産の視察及び第 20 回 INWE PF 運営会議・シンポジウム滋賀大会に参加されたところ、これらの技術交流活動に対して支援を行った（国内の旅費・宿泊費等への支援）。

令和7年度収支決算(案)

1. 一般会計収支決算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

1.1 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
1.会費収入	3,860,000	3,851,000	▲ 9,000	法人会員について 20社 個人会員について 187名
2.雑収入	1,000	7,440	6,440	
収入合計①	3,861,000	3,858,440	▲ 2,560	

1.2 支出の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
1.理事会及び総会費	300,000	170,245	▲ 129,755	理事会及び総会の開催
2.会議参加費助成	400,000	0	▲ 400,000	若手研究者派遣プログラム
3.技術交流事業	400,000	232,770	▲ 167,230	講演会、YPF勉強会等の開催
4.YPF支援活動経費	600,000	0	▲ 600,000	ICID本部のYPFを支援する活動経費
5.委託事業費	2,200,000	2,200,000	0	事務局業務を(一財)日本水土総合研究所へ委託
6.会報製本費	30,000	31,042	1,042	会報を製本・印刷・発送
7.予備費	200,000	178,190	▲ 21,810	他国ICID関係者来日対応等のICID活動支援
8.管理費	50,000	29,142	▲ 20,858	郵便振替手数料、銀行振込手数料、郵送代等
支出合計②	4,180,000	2,841,389	▲ 1,338,611	

1.3 当期収支差額及び繰越金

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引増減額	備考
収入差額(①-②)	▲ 319,000	1,017,051	1,336,051	
前期からの繰越金	10,901,319	10,901,319	0	
次期への繰越金	10,582,319	11,918,370	1,336,051	

2. 財産目録(2026年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	金 額	
現金、預金		
現金	122,185	2026/3/31
郵便振替、東京地方貯金局	6,205,557	2026/3/31
普通預金、三菱UFJ銀行東京公務部(0015575)	9,836	2026/3/31
普通預金、三菱UFJ銀行東京公務部(0023926)	3,580,792	2026/3/31
定期預金、三菱UFJ銀行東京公務部(2302625)	2,000,000	2026/3/31
資産合計	11,918,370	

(単位:円)

負債の部	金 額	
流動負債	0	
未払金	0	
前受金	0	
固定負債	0	
負債合計	0	
正味財産	11,918,370	

監 査 報 告

令和7年度（令和7年4月1日 至 令和8年3月31日）収支決算につき、
関係帳簿及び証拠書類と対照監査した処、正確であることを認めた。

令和 8 年 6 月 11 日

日本 ICID 協会

監事 塩屋 俊一 

監事 日置 秀彦 

第 2 号議案

令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

令和 8 年度事業計画（案）

日本 ICID 協会は、ICID 日本国内委員会の活動支援を中心に、次の事業を実施する。

1. 理事会及び総会

1. 1. 理事会及び総会の運営

令和8年度日本ICID協会理事会及び総会を令和8年7月に開催する。

2. 会議参加費助成

ICID 第 77 回国際執行理事会(IEC)及び第 26 回総会がフランス（マルセイユ）において令和 8 年 10 月 12 日（月）～10 月 17 日（土）開催される予定である。

国際人材育成の観点から、(一財)日本水土総合研究所が行う公益事業と連携し、同会議に YPF 会員が参加してプレゼンテーションを行う場合には、渡航費等の全額（ただし滞在費については実費の 2 分の 1）の支弁を行う。

また、同会議に参加する会員に対して必要に応じて渡航に対する支援を行い、技術情報及び資料の収集等を行う。

3. 技術交流事業

ICID 日本国内委員会の活動支援等を行う。主な活動は以下のとおり。

3. 1. 講演会

理事会・総会の開催等に合わせて講演会を開催する。

3. 2. 若手かんがい排水技術者フォーラム作業部会（WG-YPF）

WG-YPF の定例会、現地見学会、勉強会等の開催など、WG-YPF の運営及び活動に対する支援を行い、同会の活性化と若手技術者の育成支援に努める。

3. 3. 日本 ICID 協会会員の活動支援

必要に応じて WG-YPF 以外の活動も支援し、日本 ICID 協会の活動の活性化に努める。

4. YPF 活動経費支援

若手技術者の確保や技術の継承が課題となっている状況を踏まえ、YPF 活動を支援することを目的として、ICID 本部が行う YPF 活動に対して約 5,000US ドルを支出する。

5. 委託事業

5. 1. 日本 ICID 協会の運営

(一財)日本水土総合研究所に日本 ICID 協会の事務局業務を委託し、上記活動の運営を行う。

5. 2. 日本 ICID 協会会報の発行

ICID の諸活動に関する情報を会員に提供するとともに、会員からの情報、意見などを紹介する交流の場として会報を発行する。会報は、ホームページに掲載するとともに、必要に応じて印刷・製本し会員へ配布する。

5.3. ホームページの更新

ICID 関連会議及び論文募集等の情報をはじめ、ICID 活動に関する国内外の情報等を紹介する。

5.4. メールマガジンの配信

日本 ICID 協会に係る情報を 5 回程度メールマガジンとして発行する。

6. 予備費

必要に応じて、ICID 日本国内委員や会員による他国の ICID 関係者との技術交流や情報交換等に対する支援を行う。

令和8年度収支予算(案)

一般会計収支予算書(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

A. 収入の部

(単位:円)

科 目	R7年度		R8年度	摘 要
	予算額	決算額	予算額	
1 会費収入	3,860,000	3,851,000	3,788,000	法人会員 20社 個人会員 170名(前年度並みを想定)
2 雑収入	1,000	7,440	5,000	利息等
収入の部 合計①	3,861,000	3,858,440	3,793,000	

B. 支出の部

(単位:円)

科 目	R7年度		R8年度	摘 要
	予算額	決算額	予算額	
1 理事会及び総会	300,000	170,245	250,000	理事会及び総会の開催
2 会議参加費助成	400,000	0	1,000,000	若手研究者派遣プログラム
3 技術交流事業	400,000	232,770	400,000	講演会、YPF勉強会等の開催
4 YPF支援活動経費	600,000	0	600,000	ICID本部のYPFを支援する活動経費
5 委託事業費	2,200,000	2,200,000	2,200,000	事務局業務を(一財)日本水土総合研究所へ委託
6 会報製本費	30,000	31,042	40,000	会報製本・印刷
7 予備費	200,000	178,190	400,000	他国ICID関係者との情報交換等のICID活動支援
8 管理費	50,000	29,142	50,000	郵便振替手数料、銀行振込手数料、郵送代等
支出の部 合計②	4,180,000	2,841,389	4,940,000	

C. 当期収支差額及び繰越金

(単位:円)

科 目	R7年度		R8年度	摘 要
	予算額	決算額	予算額	
収支差額(①-②)	▲ 319,000	1,017,051	▲ 1,147,000	
前期からの繰越金	10,901,319	10,901,319	11,918,370	
次期への繰越金	10,582,319	11,918,370	10,771,370	

第 3 号 議 案

令和 8 年度役員の改選（案）について

令和 8 年度 日本 ICID 協会 役員名簿 (案)

令和 8 年 7 月

区分	所 属	役 職	氏 名		特記事項
			新	旧	
会長 兼理事	全国農村振興技術連盟	委員長	奥田 透	奥田 透	
副会長	(公益社団法人 農業農村工学会)	(専務理事)	(白谷 栄作)	小泉 健	交代による
理事 候補	公益社団法人 農業農村工学会	専務理事	白谷 栄作	小泉 健	交代による
理事	農林水産省 農村振興局 整備部設計課 海外土地改良技術室	室長	高野 伸	高野 伸	
理事	ICID 日本国内委員会	委員長	渡邊 紹裕	渡邊 紹裕	
理事 候補	一般財団法人 日本水土総合研究所	総括 技術監	清野 哲生	北林 英一郎	交代による
理事	一般社団法人 海外農業開発コンサルタント協会	企画部長	熊谷 徹	熊谷 徹	
理事	西松建設 株式会社	顧問	松本 雅夫	松本 雅夫	
理事	NTC インターナショナル株式会社	代表取締役 社長	森 卓	森 卓	
理事 候補	日本 ICID 協会 WG-YPF (東京農工大学)	代表	浅田 洋平	宮津 進	交代による
監事 候補	一般社団法人 土地改良建設協会	専務理事	北林 英一郎	塩屋 俊一	交代による
監事	一般社団法人 農業土木事業協会	専務理事	日置 秀彦	日置 秀彦	

注：全役員の任期は令和 9 年度末まで